

八十嶋洋子プレゼンツ

最終回

# クララの 室内楽

★Claraのクリスマス★

……ロベルトとヨハネス、二人の芸術家の真実の愛と共に……

2023年12月24日(日)

14:00開演(13:40開場)

高輪プリンセスガルテン内 ホール

アンビエンテ

※プリンスホテルではありませんのでご注意ください



出演 八十嶋 洋子 (ピアニスト) ほか

Program

ベートーヴェン: ピアノソナタ「熱情」(第1楽章)

C.シューマン: 歌曲集〈愛の春〉より「なぜ私以外の人に訊ねようとするの?」

R.シューマン(C.シューマン編曲): 歌曲集〈ミルテの花〉より「献呈」

ブラームス: 主題と変奏(クララに捧ぐ)

R.シューマン(弦楽四重奏伴奏版/津留崎直紀 編曲): ピアノ協奏曲 イ短調(第1楽章) その他

……そして、クリスマスのプレゼント・ステージと……

「うちのクララです」、主人から戯れに紹介されていた、ただそれだけの理由でタイトルに使ったシリーズでした。毎回素晴らしいゲストや共演者のお導きで回を重ねながら、当初思いもつかなかった文学への扉が開き、私の音楽への向き合い方もクララ・シューマンを知り、深くなりました。最終回はクララが度々プログラム冒頭に置いたソナタ「熱情」、生涯に何度も演奏した、妻への思いに溢れた夫ロベルトの「ピアノ協奏曲」、美しいクララの歌曲、そしてブラームスからの愛の形である「主題と変奏」を、私からの感謝のクリスマスプレゼントとして、長く見守って下さった皆様に贈らせて頂きます。クリスマスに「クララの室内楽最終回」をご一緒できますことを楽しみに準備して参ります。 八十嶋洋子

チケットお申し込み スタジオ・フリーデル チケット受付担当 (渡辺) TEL.03-6264-7892

料金 一般 ¥4,000円/学生 ¥3,500 ※全て税込 要予約 ※未就学児のご入場はご遠慮願います。 (電話受付11:00~17:00)

主催: スタジオ・フリーデル (TEL.03-5700-4055)

後援: 日本ブラームス協会、銀座十字屋、[認定]NPO法人アジア・チャイルドケア・リーグ



いよいよ、「クララの室内楽」がシリーズ最終回を迎えた。高名な音楽家ロベルト・シューマンの妻として音楽と家族を支える一方で、同時に一人のピアニストとして自らも音楽家としての才能を磨き続けたクララ・シューマンの一生は、八十嶋洋子さんにとって、まさに自らその人生をなぞるがごとく存在となっていた。シリーズを通して、クララの化身となった八十嶋さんだが、クララを通じて、実はご自身の自己実現を成し遂げられたのだと思っている。クララの音楽を捉えながら、文学や文化的な側面からの女流芸術という視点から考察したり、小児がんに苦しむ子供たちへのチャリティに心血を注いだり、「女性であり音楽家であることの意義」を最大限に突き詰められた。こういう言い方はおこがましいが、8年の間に、八十嶋さんの人間的な器はどんどん大きくなって、まばゆいばかりの光彩を放つに至った。フィナーレをクリスマスとしたのも、実に八十嶋さんらしい。今回は、シューマン作曲の「ピアノ協奏曲第一楽章」をメインに掲げた。ロベルト&クララ一家の絆を感じさせる素敵な曲。最終回に、皆でクリスマスを祝おうという粋な演出である。そう、シリーズを通じて、八十嶋さんの下、我々が何だかひとつの音楽的な家族になれた気がしているのは、たぶん私だけではない。 (銀座十字屋/森 泰義)

### 八十嶋 洋子 やそしま 洋子(ピアノ)

東京都出身。東京藝術大学ピアノ科卒業。旧西ベルリンにてピアノをG・ブッフホルト、D・ヘクスタ両氏に、室内楽をR・ワインスハイマー氏に師事。在独中ジュネーブ国際コンクール他、多くのコンクールで伴奏ピアニストを務める。ベルリンのロイヤルアカデミーオブダンシングの正式ピアニストとして数々の公演に出演。1982年ベルリンフィルハーモニー室内楽ホールにて八十嶋龍三とのデュオでデビューの後、チェロとピアノの作品の研究を続け、ドイツ日本各地で演奏活動を続けた。大学在学中より永年にわたり、日本を代表する作曲家、平井康三郎氏に師事、多くの日本歌曲の初演、ピアノソロでNHK-FMに出演。現在ピアノソロをはじめ、(チェンバロを含む)室内楽奏者、伴奏者として活動の他、国立がん研究センター他、病院、施設での音楽会企画にも積極的に取り組んでいる。これまでに、久保田裕子、林美奈子、松崎俊三、永井進、田村宏、の各氏に、2019年より金澤希伊子(桂子)氏に師事。吉祥女子中学高等学校非常勤講師。また、亡き夫から引継ぎ、スタジオ・フリーデル、チェロアンサンブルの"ゴージュの会"を主宰し、恩師である"ベルリンフィル12人のチェリストたち"の創始者ワインスハイマー氏と現在の"12人"の協力を得て夫の遺志を継ぎ、チェロ合奏の楽しさを広めている。2018年ボルケン、フランクフルトにて、2023年ボルケンにて、クララ・シューマンに因んだ室内楽コンサートに出演。全8回として2015年から始めた「クララの室内楽」シリーズは毎回魅力的なゲストを招き、文学も取り入れながら新しい切り口で音楽に迫り聴衆に新鮮な喜びを伝えてきた。ドイツでのシリーズ最終公演はライブツィヒにて開催予定。吉祥女子中学高等学校非常勤講師。日本演奏連盟会員。



### 松本 華子 まつもと はなこ(1st Vn)

4歳より桐朋学園大学附属子供のための音楽教室仙川教室にてヴァイオリンを始める。雙葉高等学校を卒業後、桐朋学園大学音楽学部、同大学大学院修士課程を修了。第7回ヴァイオリンコンクール入選、第12回セシリア国際音楽コンクール室内楽部門第3位などに入賞。2022,2023年度日本芸術協会奨学生。これまでにヴァイオリンを鈴木重久里、景山誠治、原田幸一郎の各氏に師事する。現在、桐朋学園大学大学院博士後期課程3年に在籍する傍ら、音楽系ライター、後進の指導やオーケストラでの演奏活動などを行なっている。



### 佐川 絵美 さがわ えみ(2nd Vn)

千葉県出身。3歳よりヴァイオリンを始める。東京音楽大学付属高校を経て、桐朋学園大学音楽学部を卒業。桐朋オーケストラアカデミー研修課程修了。これまでにヴァイオリンを中村弓子、川崎牧子、漆原朝子、木野雅之、清水麗輝の各氏に師事。現在はフリーランス奏者として、オーケストラや室内楽を中心に演奏活動を行なっている。



### 大森 悠貴 おおもり ゆうき(Va)

愛知県出身。桐朋学園大学音楽学部を経て、同大学院修士課程を修了。東京・春・音楽祭2023に出演。2022年セイジ・オザワ松本フェスティバル小澤征爾音楽塾生。これまでに今井信子氏、Thomas Riebl氏のマスタークラスを受講。トリトンアーツ若手支援演奏家代表として東京文化会館アフタヌーンコンサートに出演。フリーゲルカルテットでは日本モーツァルトにて磯村和英氏と共演するなど積極的に活動している。これまでにヴィオラを磯村和英、佐々木亮、大島亮の各氏に師事。現在パシフィックフィルハーモニア東京契約団員。



### 佐藤 響 さとう ひびき(Vc)

熊本県出身。桐朋学園大学音楽学部を卒業。第40回熊本県高等学校器楽コンクールにて金賞受賞。第39回九州高等学校音楽コンクールにて銀賞受賞。第21回宮日音楽コンクールにて優秀賞受賞。第18回九州音楽コンクールにて金賞、審査員特別賞受賞。第14回ヴェルデ音楽コンクールにて優秀賞受賞。第21回別府アルゲリッチ音楽祭にて向山佳絵子氏のマスタークラスを受講。チェロを梶田博文、宮田浩久、毛利伯郎の各氏に師事。



## 高輪プリンセスガルテン アンビエンテ

注：プリンスホテルではありません

〒108-0074 東京都港区高輪4-24-40 高輪プリンセスガルテン内

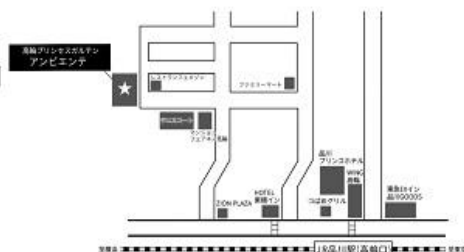
J R品川駅高輪口より 徒歩約7分

TEL:03-3443-1521

品川駅高輪口正面の信号を渡り、第一京浜国道を左へ真っ直ぐ。

Hotel東横インを過ぎて一つ目の角を右折。

150mほど直進して左側に見える最初の曲がりを左折。



《会場での感染防止対策は適切に行いますが、皆様のご協力ご理解、どうかよろしくお願ひ申し上げます。》